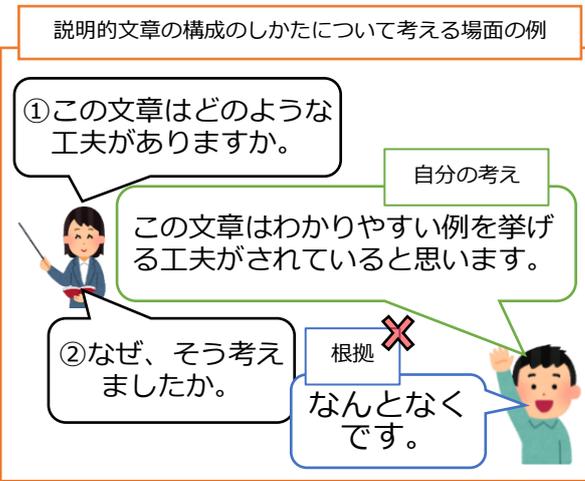


自分の考えを整理・深化させる活動の工夫

「文章のどこから考えたのかを説明できない…。」そんな生徒の姿はありませんか

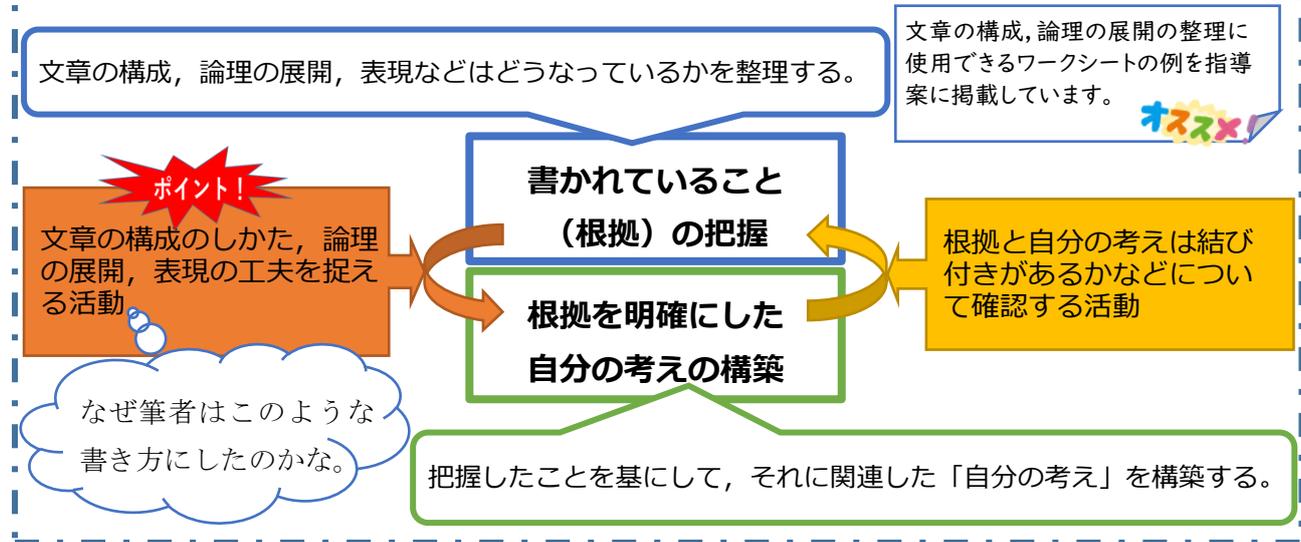
「読むこと」の学習において、「自分の考え」に明確な根拠をもたせたいと思い、「なぜそう考えましたか」と聞いても、「なんとなくです」と答える生徒が見られる。そんな経験はありませんか。福島県全体を見ても、中学校国語科において、文章中の根拠を明確にしながらか「自分の考え」をもつことに課題が見られます。

ここでは、文章に書かれていることを把握し、その上で「自分の考え」を構築する学習を紹介します。生徒が何度も文章を確認しながら考えを深められるように意識した授業展開によって、文章中の根拠を明確にした「自分の考え」を構築する生徒の姿を目指していきましょう。



文章中の根拠を明確にした「自分の考え」をもてるようにしたい！

「読むこと」領域における根拠を明確にした考えの構築を目指した学び



主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善のポイント

中学校国語科では、根拠を明確にして「自分の考え」を構築する力の育成が求められています。適切な根拠を基に「自分の考え」をもつことができるように、文章全体との関係を踏まえた文章の工夫について考えさせ、他の人と考えを交流させる活動を設定しています。

根拠となる部分の解釈を十分に行うことで、生徒が文章全体を踏まえた「自分の考え」を構築することを目指します。

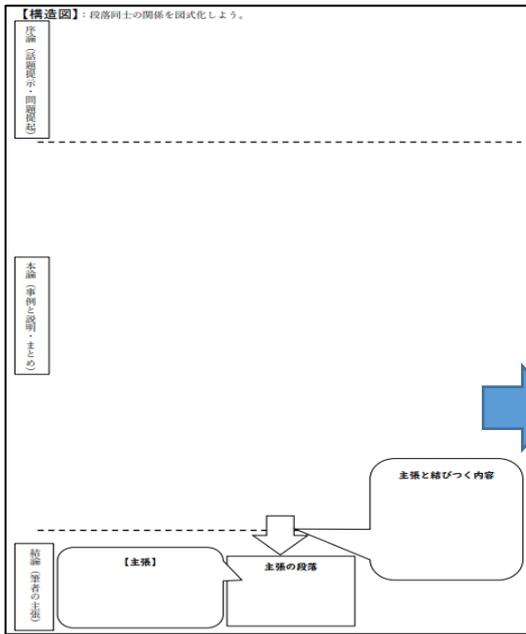
授業改善の工夫	自分の考えを整理・深化させる活動の工夫
---------	---------------------

中学校国語科学習指導案 第3学年	
単元名	文章を評価しよう「人間と人工知能と創造性」(光村図書 3年)
単元のねらい	(1) 論説文の特徴について理解を深めることができる。 [知識及び技能] (1) ウ (2) 論説文の特徴を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1) ア (3) 文章の構成や論理の展開, 表現の仕方について評価することができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1) ウ (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに, 読書を生活に役立て, 我が国の言語文化を大切に, 思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」
単元の流れ	「人間と人工知能と創造性」(全5時間) 第一次 本文を通読し構成図を作成する。(1時間) 第二次 段落同士の関係性を構造図にまとめる。(2時間)【事例有】 第三次 文章の書かれ方が読み手の共感を得るために有効であるかを評価する。(2時間)
準備物	構成図作成ワークシート※1, 構造図作成ワークシート※2

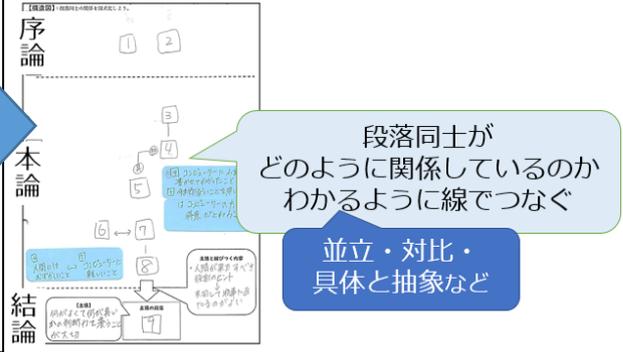
書かれていること(根拠)の把握に用いたワークシート



※1 構成図作成ワークシート
 段落ごとの要点を図として一目で把握することができるようにする「構成図」を作成する。段落ごとのキーワードを挙げたり, 中心となる文同士を組み合わせたりして要点をまとめる。本文のすぐ下に構成図を作成することで, 常に本文の叙述を確認しながら要点をまとめることができるようにする。



※2 構造図作成ワークシート
 段落相互の関係をさらに理解させるために, 段落同士を線をつないで関係性を整理し, 図式化する「構造図」を作成する。この構造図を用いて, 文章の構造には筆者のどのような意図があるのかについて考えることで, 事例と主張のつながりを具体的に考えることができるようにする。



本時のねらい (第3時)

読み取った作品の構造における特徴について、構造図を基にした交流を図ることで、文章全体を踏まえた筆者の書き方の意図を捉えることができる。

学習過程

段階	学習内容・生徒の活動	時間(分)	指導上の留意点等・評価方法
導入	1 本時の課題を確認する。 筆者はなぜこのような書き方をしたのだろう。	5	○文章にはどのような書き方の特徴があったのか、その必要性は何かを捉えることで、次の時間の評価活動につなげることを伝える。
展 開	2 構造図に図式化した段落同士の関係性の中で、注目したい構造の特徴を選び、文章化する。 【予想される生徒の反応】 ・6, 7段落目に人間とコンピュータのそれぞれ苦手なことを具体的に書いていて、それを8段落でまとめている。	10	○前時にまとめた構造図と、本文の叙述を確認しながら、どのようなことが対比関係で書かれているか、どのようなことが具体的に書かれ、抽象的に書かれているかなどをより詳細に書くように指示する。
	<p>文章全体との関係を踏まえた文章の工夫について考え、他の人と考えを交流する活動</p> <p style="text-align: right;">ポイント!</p>		
	3 選んだ構造の特徴には、筆者のどのような意図があるのかを考える。	15	○事例の内容は、主張をどのように支えているかという視点から筆者の意図を考えるように指示し、事例と主張のつながりに着目させる。
	4 構造図を見ながらペアで考えを交流する。	15	○交流する際、自分が注目した構造の特徴について、「もしも、そのような構造でなかったら」のように仮定して考えるように指示し、文章を多面的に見ることができるようにする。
開			
	【予想される生徒の反応】 ・8段落だけだと、人間とコンピュータの短所がわからないので、人間とコンピュータがどう協力していけばよいのかを伝えるために、筆者は6, 7段落の内容を書いた。		【思考・判断・表現】ワークシート ・文章の構造における効果を捉え、文章全体を踏まえた筆者の書き方の意図について考えている。
終末	5 次時の学習の見通しをもつ。	5	○次回は、注目した構造の特徴を根拠にして作品を評価する文章を書くことを伝え、学習の見通しをもつことができるようにする。